

事務事業名	特定鳥獣適正管理事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6219
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	みどり自然課	課長名	戸栗 香
			所属担当	自然保護推進	担当者名	河西 政彦
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 名称 款 項 目 細目 細々目	01 一般 0 6 0 2 0 1 0 2 0 1 6	
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
施策	32	自然と共生する地域づくり				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 適正な個体数維持の為、サル、シカ、イノシシの捕獲を猟友会へ依頼し買い上げる		事業費の主な内訳 (22年度)			
			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
			買上金	3,200		
				計	3,200	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	シカ50頭、イノシシ30頭、サル80頭捕獲
23年度活動予定	シカ110頭、イノシシ30頭、サル130頭捕獲予定
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
シカ、イノシシ、サル	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	
個体数の調整	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
鳥獣の適正管理を行い農林業被害の防止、特定鳥獣の保護管理及び自然環境の保全	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 捕獲予定頭数	頭
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア シカ、サル、イノシシ	頭
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 捕獲頭数実績	頭
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 農林業被害	m
イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
			千円							
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円	1,375	1,600	2,675	2,312	2,312	2,312	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,375	1,600	2,675	2,387	2,313	2,313	
		事業費計(A)	千円	2,750	3,200	5,350	4,699	4,625	4,625	0
	人件費	正規職員従事人数	人							
		延べ業務時間	時間							
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	2,750	3,200	5,350	4,699	4,625	4,625	0
	活動指標	ア	頭	150.0	160.0	270.0	255.0	255.0	255.0	
		イ								
		ウ								
	対象指標	ア	頭	150.0	160.0	270.0	255.0	255.0	255.0	
		イ								
		ウ								
	成果指標	ア	頭	150.0	160.0	270.0	255.0	255.0	255.0	
		イ								
		ウ								
	上位成果指標	ア	m	81,500.0	113,600.0					
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成19年度に農林業被害の拡大に伴い県と市で半額負担で始まった事業である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	猟友会の高齢化と会員不足に悩まされているが、出労回数を多くして捕獲予定数を捕獲している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	有害鳥獣事業と連携して捕獲頭数を伸ばして欲しい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	今後も県の事業が続く限り市民のニーズに応える必要があるため、捕獲頭数を増加している。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	市内の被害状況に合わせて対象鳥獣の捕獲数を変更した。

事務事業名	特定鳥獣適正管理事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 人間と鳥獣の共存を目指し、地域の固体群の長期的安定維持を図るために必要な範囲でおこなうことで自然環境の保全になる。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 県の補助事業で、事業主体が市であり、また、猟友会も事務処理まで対応できないので現状がよい。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 事業自体が継続することで成果が上がるので、途中での廃止ができない。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 各地区猟友会別に行動することで、地域に精通して安全確保にもつながる。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 適正管理捕獲事業と有害鳥獣駆除事業とに分かれているが、目的は捕獲なので、事務の簡素化につながる。
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 今現在、被害が発生しているので事業を休止できない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状で、捕獲作業は猟友会でないとできないので、コストを削減できない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 県の補助事業で、事業主体が市であり、また、猟友会も事務処理まで対応できないので現状がよい。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 農林業被害の他に、特定鳥獣の保護管理及び自然環境の保全が目的なので、公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	特定鳥獣(シカ・サル・イノシシ)については、アヤメの植生や南アルプスに生息する高山植物に多大な被害を受けている。最近、狩猟者の減少から特定鳥獣の数が増加しており、市内山間部で被害が毎年、増加している状況である。今後は、特定鳥獣の捕獲数を増やすため、山梨県に特定鳥獣適正管理事業補助金の増額を働きかけ、積極的に事業を推進していく必要がある。なお、担当者の評価にもあるように農林振興課に鳥獣被害防止計画事業の類似事業があるため、一本化する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
①近年、特定・有害鳥獣による農作物等被害は増加しているので、事務事業を一本化してスリム化していったほうがよい。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
①事務分担の変更ができることよい。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					